

明和工業がケニア政府関係者を県内に招聘 ～JICA 中小企業海外展開支援事業(案件化調査)を 活用し、バイオマス炭化装置のアフリカ普及を目指す

明和工業株式会社(石川県金沢市)は、JICA 中小企業海外展開支援事業(案件化調査)のスキームを活用し、2017年よりケニア国を対象とした「バイオマス炭化装置を用いた有機廃棄物処理技術展開に関する案件化調査」を実施しています。

ケニアでは人口の増加と都市集中により廃棄物の量が急激に増加しており、最終処分場の容量逼迫が課題となっています。明和工業は、廃棄物の約7割を占める有機廃棄物対策としてバイオマス炭化技術を導入し、これまで処理費用の掛かっていた有機廃棄物を農業利用・燃料利用可能な炭化物に再資源化することを目指して、JICAと共同で調査を実施しています。同社の取り組みにより、ケニアにおける有機廃棄物の減容・利活用を通じた環境負荷低減と所得向上・雇用創出が図られるとともに、持続的な地域循環型モデル構築への貢献が期待されます。さらに北陸地域経済の活性化、両国の互助関係構築等に繋がることも期待されます。

今般、この調査の対象地域となっているケニアのメルー郡政府環境局関係者2名を金沢に招聘し、同社のバイオマス炭化技術について知識を習得し、理解を深める研修を行います。本研修の様子をぜひ取材頂きたく、宜しくお願い致します。

日時: 2018年5月23日(水) 13:30-17:00

場所: 明和工業株式会社 (住所:石川県金沢市湊三丁目8番地1, Tel: 076-239-0118)

内容: メルー郡政府関係者へのバイオマス炭化技術についての説明

- 「中小企業海外展開支援事業～案件化調査～」とは
途上国の開発ニーズと日本の中小企業の優れた製品・技術等とのマッチングを行い、製品・技術をODA事業に活用するための情報収集・事業計画立案等を支援するものです。

【本件に関する問い合わせ先】

(独)国際協力機構北陸支部(JICA北陸)

小島 路生(こじま みちお)

TEL 076-233-5931

E-mail: Kojima.Michio.2@jica.go.jp

PRESS RELEASE



独立行政法人国際協力機構
北陸支部
2018年5月21日
